

UVニス

## UV 161 OPニス S

『UV 161 OPニス S』は、UV 161インキタイプの紫外線硬化型OPニスであり、主にラベル印刷物の印刷面強化に使用されています。

## ■ 特 徴

- ▶ UV硬化性、密着性のバランスが良い。
- ▶ 凸版印刷のほか、平版オフセットが良好である。
- ▶ 耐光・耐摩擦・耐溶剤等の耐性に優れている。
- ▶ トラッピング性、耐黄変性に優れている。
- ▶ ミスティングが少ない。

## ■ 性 状

タック値	:	3.0 ~ 3.5	(インコグラフ、400rpm、水温 38°C、1分値)
フロー値(D <sub>60</sub> )	:	40.0 ~ 48.0mm	(スプレッドメーター、室温 25°C、1分後の拡がり直径)
滑り角(印刷物)	:	25° 前後	(乾燥状態、原反、インキなどによって変動します。)

## ■ 使用上の注意

- ▶ ホイル紙、フィルムなどの原反に印刷する場合には、事前に密着性を確認してください。
- ▶ 条件により箔押しも可能ですが、箔を選択した上で適性を確認ください。(特に御注意ください。)
- ▶ 紙の種類、糊の種類によっては接着可能ですが、基本的には糊代が必要です。
- ▶ 油性インキ上のUV-OPニスとして使用することはできません。
- ▶ 滑り性は、紙質・硬化状態・湿度などの環境により変化しますので、目安としてください。
- ▶ 太陽光が当たる場所であったり、インキ壺の近いところに蛍光灯などが設置されていたりしますとニスが硬化しますので注意が必要です。
- ▶ “UV 161”の特色インキ作成時に、光沢メジウムとしても使用出来ます。
- ▶ インキ盛り過ぎやランプの劣化により、効果不良・密着不良が発生する可能性がありますので、ご注意ください。
- ▶ 助剤・洗浄剤・版材については、UV インキ用のものをご使用下さい。
- ▶ 火気に注意し、作業場は十分に換気し、紫外線や直射日光を避けて取り扱ってください。吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を着用ください。衣類などに付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けてください。取り扱い後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

- ▶ 目に入った場合、直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した際は、汚染衣服や靴等の汚れを落とした後も、付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流してください。もし、皮膚に炎症やかゆみを生じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- ▶ 本製品を御使用の際には、事前に安全データシート(SDS)を良くお読みください。



印刷インキ工業会

2022/01/18 No.W-2

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。